

W8・ドキュ・ガラケー・蟲記⑫の2・A4に2ページ袋とじ・丸ゴ

ガラケー・蟲記 ⑫の2

ガラケー・ムシキ

その他の昆虫 2018 年版

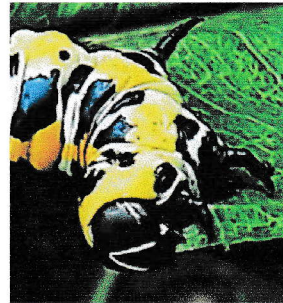
(カメムシ目、コウチュウ目以外)

記録：辻 秀幸

印刷：2018/12/16.



シオヤクワ



ホソバセガモクメ

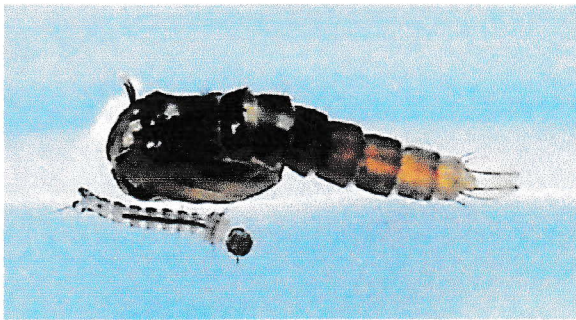
ガラケーで書してみました

- ・山崎秀雄先生の「昆虫博士入門」(全国農村教育協会 2014)を見て、元カメラ少年の心か何起動。先生からのアドバイスを励ましを受けて撮影開始。
- ・カメラは、ガラケー(NTT ドコモ F-08C)、microSDに記録の後、ウインドウズ8の「ピクチャ」に保存。プリンタは EPSON PX-045A。
- ・掲載写真は、イラストや写真のコピーを含めて全て、ガラケーによる。
- ・「原版」番号は「ピクチャ」への入力日付。撮影日付とまったく関係ない場合もある。
- ・「参照した図鑑など」と「索引」は⑩に掲載。

言い訳をいくつか

- ・蟲との遭遇記録。研究ではない、私の遊び。
- ゆえに、好きなように書き、編集する。蟲の名前はすべて「？」付き。他人さまの目に触れても、恥ずかしくないようにという配慮はした。
- ・遭遇するのは「昆虫」だけでは無い、なので「蟲」という漢字を採用。
- ・手持ちのガラケーの活用が前提。なので買った機材への変更はしない(できない)。補助用具も同様。

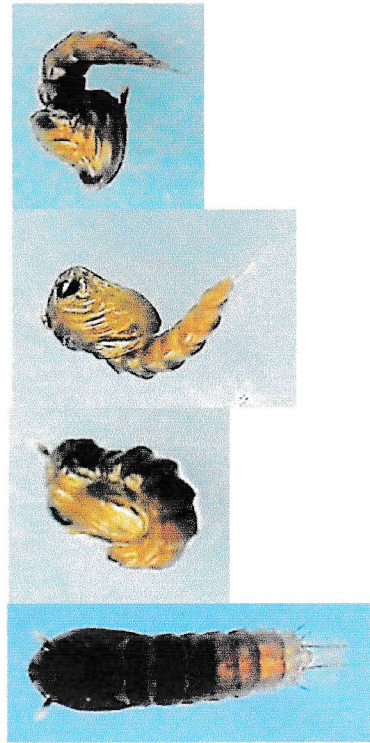
ほうふうら・おにほうふうら (昆虫綱・ハエ目・カ科) ヒトスジシマカ であらう (子子。子。ほうふうり。ほうふうりむし。おにほうふうら)



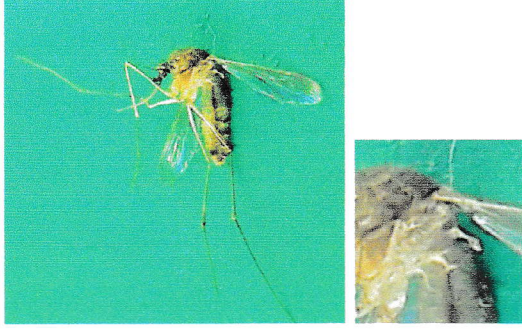
原種: Windows8・ピクチャ・2018/09/08.
採取: 2018/09. 船橋・浜町1-33. 船橋橋に接する長森のワツ.
体長: 大 (おにほうふうら) 5 mm, 小 (ほうふうら) 2.5 mm.
撮影: 2018/09.
山崎先生『昆虫博士入門』(バクワラ) p166.

ヒトスジシマカの幼虫 (ほうふうら) とさなぎ (おにほうふうら) だろう。幾つか置いてあるワツのたまり水の中で活発に運動中。
水面にぶら下がっている真横からの様子の写真を思い浮かべる。そういう写真は撮れない。水をごく少しにして、上から撮影。なんとかモノにできた。

さなぎ 4 態



アカイエカ (昆虫綱・ハエ目・カ科) 2018 年版



原種: Windows8・ピクチャ・2017/12/09.
採取: 2017/12/7. 船橋・浜町1. マンション3F 室内.
体長: 5 mm. 翅長: 4 mm.
撮影: 2017/12/9.
参照: 『ガラケー 蟲記』① p44, ④ p2-6.
山崎先生『昆虫博士入門』(アカイエカ) p166.

きのうも今日も顔の周りを飛び回る。小うるさいので片手で捕まえた。ひどくは曇んでいないようなので、平均棍を写してみることにする。何枚も写したかやっこの程度。

このガラケーのピント合わせは平面には強いが立体には弱い。焦点を計測する範囲を示すマークが現れるが、その中央なのか範囲の平均値なのか。被写体が模様のない一色の壁のような場合はピント合わせ不能。

アカイエカ (昆虫綱・ハエ目・カ科) だろうな。 2018年版



原画: Windows8・ピクチャ・2018-04-06,

採取: 2018/4/2, 船橋・浜町1,

マシヨン3F室内,

体長: 5^{5/16}, 翅長: 5^{3/16},

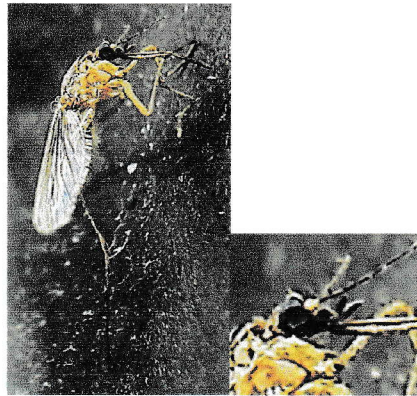
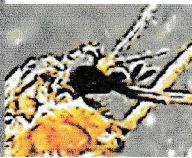
撮影: 2018/4/6,

参照: 『カラケ一蟲記』①p.44, ④p.2-6,

山崎先生『昆虫博士入門』(コガタアカイエカ) p166,

初学に動かしんできたら手の甲が痒くなった。そして顔のあたりに殺気を感した。条件反射で叫びたらいつが壁に落ちた。見たところ損傷してない様子なので撮影。

目視でも写真でも平均肉眼は確認できなかつた。



アカイエカ (昆虫綱・ハエ目・カ科) 2018年版



原画: Windows8・ピクチャ・2018-06-01,

採取: 2018/5/29, 船橋・浜町1, マシヨン3F室内,

体長: 4^{5/16}, 翅長: 4^{3/16},

撮影: 2018/6/1,

参照: 『カラケ一蟲記』①p.44, ④p.2-6,

山崎先生『昆虫博士入門』(コガタアカイエカ) p166,

顔の周り、腕のあたりを執拗にうろつくのでたまらず撃墜。

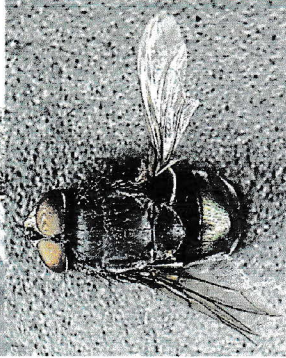
ここは3階で、経緯からこの高さにも蚊が昇ってくることは普通に行われていると思ってる。では、建物の中ではどの位の高さまで上がるのだろうか。階段払いにどこまでも昇りそうだ。階段がなかったら、つまり建物無しでの所ではどうだろうか。そういう所は人が居ないからあえて昇る意味はない。なんぞと考えた。

ケブカクワロハ (昆虫綱・ハエ目・クワロハ科) ていしんじやないかいな

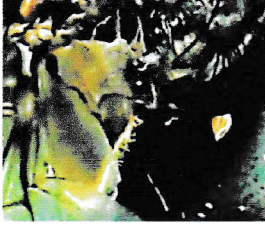


原種: Windows8・ピクチャ・2017/12/13,
採取: 2017/12/11, 船橋・浜町1, 『深田公園』,
体長: 12[♂], 8[♀], 撮影: 2017/12/13,
山崎生 『昆虫博士入門』(クワロハ) p.165.

見慣れたハエよりやや大型で黒く毛深く見えた。ぜひ
被写体になっていただきたく、ご招待。
見慣れたハエは寒くなっても元気で、ご招待をいやが
るが、このハエは快く応じてくれた。
平均根とりん弁を、やっとのことと写せた。



平均根 と りん弁



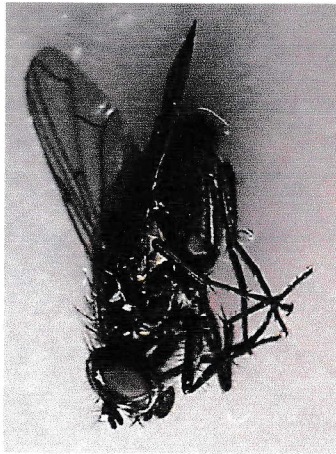
← 体右側のりん弁と平均根
平均根を見えやすくせんものと、
りん弁に触れたが故、自然の状態
とは異なると承知されたし。

平均根は後が変化したもの。それ自体が重くいて体のバランスを取ると理解していたが、そ
うではなくてセンサーのような動きをするらしい。体勢の変化を感じて羽に伝える、という器
官らしい。

りん弁は前翅の基のあたりが変化したもの。ちょっと調べた範囲では、動きは理解できな
かった。手元の小学生向けの昆虫図鑑には「りん弁」となっているが、学者によっていろいろな
名前がつけられているようだ。北隆館『原色昆虫大図鑑 第三巻』2008には次のように
例示されている。今2018年は統一した呼び名になっているのだろうか。

- 覆弁 (基覆弁、端覆弁)
- 覆片
- 冠弁
- 腹弁 (下腹弁、上腹弁、下部腹弁、上部腹弁)
- 胸弁 (下胸弁、上胸弁、前胸弁)
- 翅片
- 翅弁 (下部胸弁、上部胸弁)
- 鱗弁

センチニコハコ (昆虫綱・ハエ目・ニコハコ科)

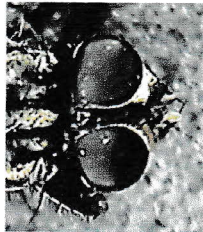


原稿: Windows8・ピクチャ・2018-10-03, 06.
 撮取: 2018/10/2, 船橋・浜町1.
 『細いハイツ』3F室内
 体長: 8^{mm}, 翅長: 7^{mm}.
 撮影: 2018/10/4, /06.
 参照: 『ガラケー蟲記』①p.38-40.
 山崎先生『昆虫博士入門』(ハコ)p.9, 17,
 20, 23, 31, 49, 51, 56, 165-171.

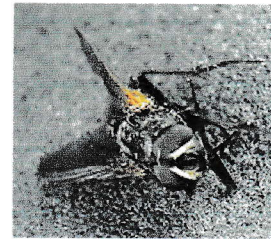
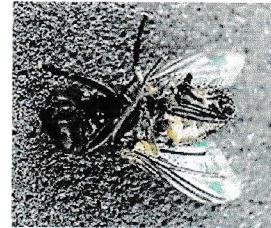
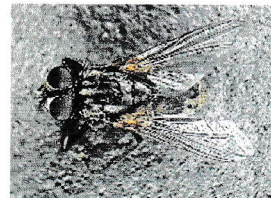
数日前から部屋のなかを徘徊。太平洋戦争直後ならいざ知らず、今の日本で、ハエが顔のまわりをぶんぶん飛ぶのはうるさくてしょうがない。新聞紙を丸めて撃墜。絶命してはいないの
 で、目か筋の内にと急いで撮影。あとでゆっくりとりん井や平均棍を写すことにした。
 ところで、ハエもカモ、新聞紙などの「武器」を持つと遠端に写り付かなくなるような気がする。
 殺気を感じるのだろうか。



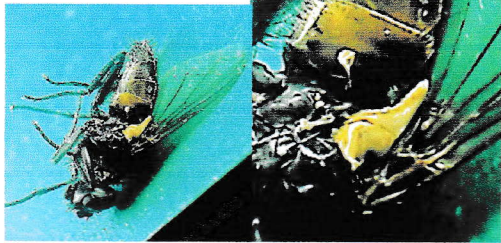
←10/4 日の眼



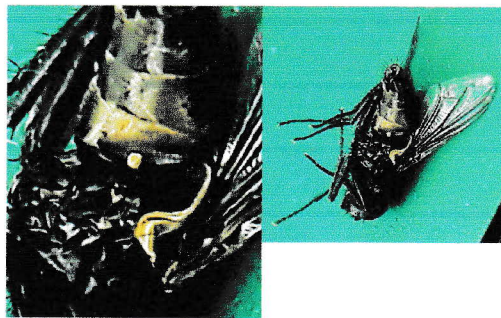
10/6 日の眼→



りん井と平均棍



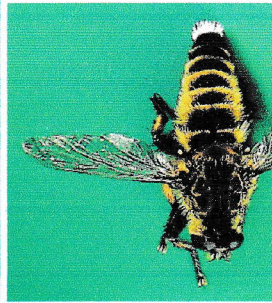
白く写っている
 左が りん井
 右側の小さい白
 が 平均棍



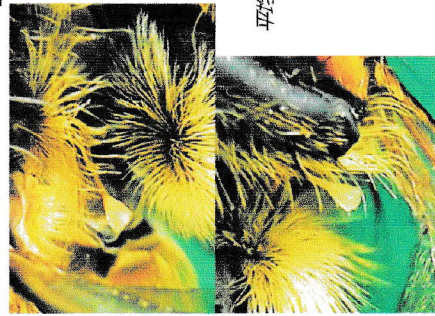
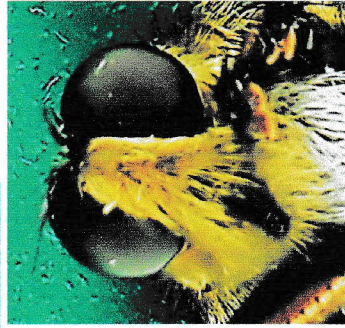
シオヤアブ (昆虫綱・ハエ目・ムシヒキアブ科) 2018年版



原販: Windows8・ピクチャ・2018-06-10.
採取: 2018/6/4. 船橋・浜町1。[沼田公園]。
体長: 26^{3/4}mm。翅長: 17^{3/4}mm。
撮影: 2018/6/10。
参照: 『カラケ一蠱記』④ p17, 18。
山崎先生 『昆虫博士入門』 p69, 171。



平均短・体の右



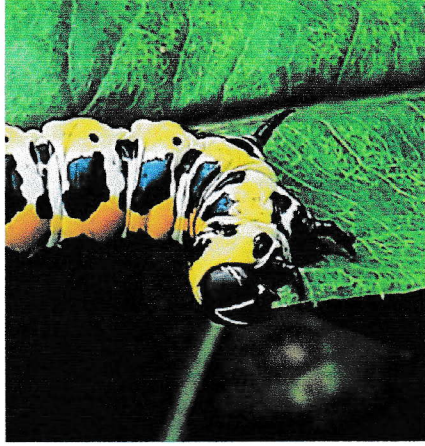
平均短・体の左

腹端・背側



腹側

ホソバセダカモクメ (昆虫綱・チョウ目・ヤカ科) の幼虫か!?



原販: Windows8・ピクチャ・
2018/09/13, 14。
採取: 2018/9/13, /14。
船橋・浜町1。[沼田公園]。
体長: 45^{3/4}mm。
撮影: 2018/9/13, /14。
参照: 『カラケ一蠱記 (ヤカ科)』④ 46
山崎先生 『昆虫博士入門』 (ヤカ) p56,
178-180。

幼虫の図鑑で、よく似た写真を見つけた。オオモンシロチョウの幼虫である。しかし北海道と青森県で確認されているだけらしい。とするとほぼかなんだろうか。

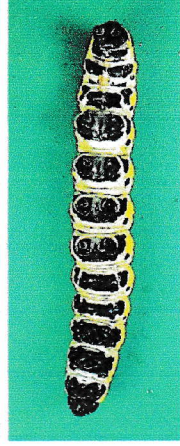
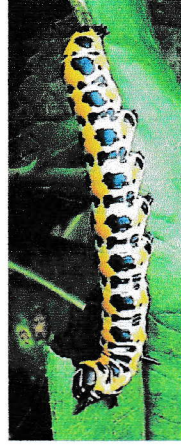
山崎先生にお会いした時にそんな話をした。先生から「カ」ではないか、ホソバセダカモクメを調べてみよ、との助言をいただいた。

先生のお話し。「チョウ」は数が限られているので幼虫についても調べてみている。

「カ」の数は膨大なので、図鑑で見ることが出来るのは限られている。卵から飼育して写真を撮らなければならぬので、図鑑作りは難しい。食べている植物を記録しておくと同定に役立つ。

など面白い話をいろいろ聞いていた際、最近出版された図鑑を紹介された。小中学生向けに企画されているが、種類も多く掲載され、きれいだし、なにより価格が手ごろなので早速

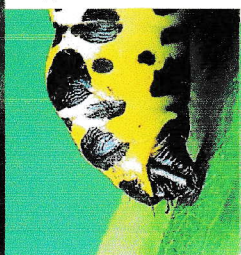
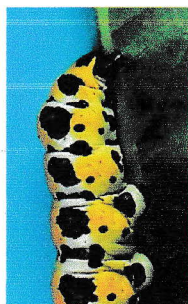
入手。小学館の「NEO」シリーズの一冊である。(参照: 『参照した図鑑など』 さっそく以前に記録したイモムシ、ケムシをあたってみたが、やっぱり難しい。



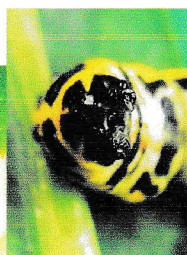


↑おしり

頭↑

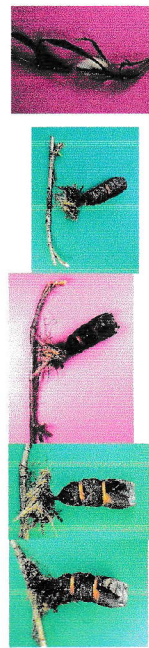
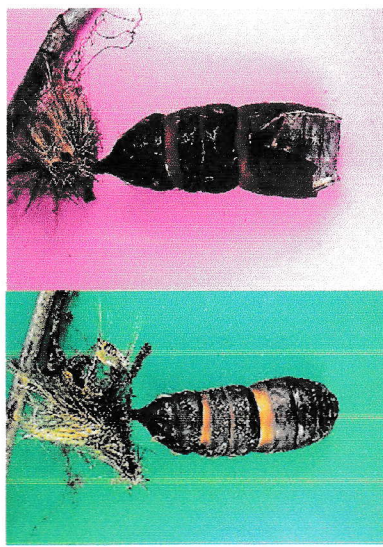


左列：おしり 右列：頭

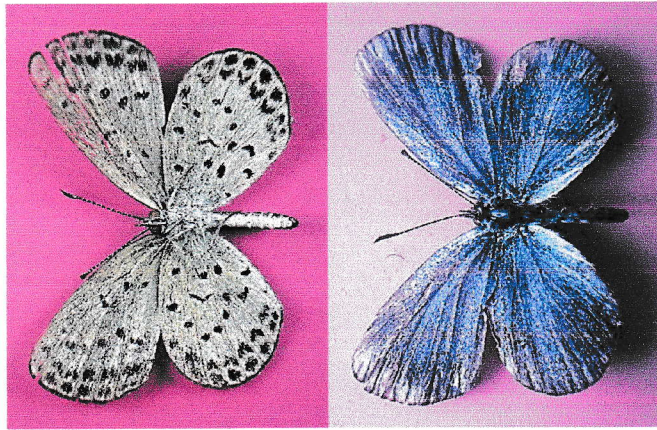


まゆとさなぎの抜殻

原画：Windows8・ピクチャ・2018/10/19。
 挿取：2018/10/18。船橋・海町1。「海神公園」。
 大きさ：さなぎの殻は 35×13^{mm}、(カマモト)の殻。白い殻は 15×9^{mm}。
 撮影：2018/10/19。

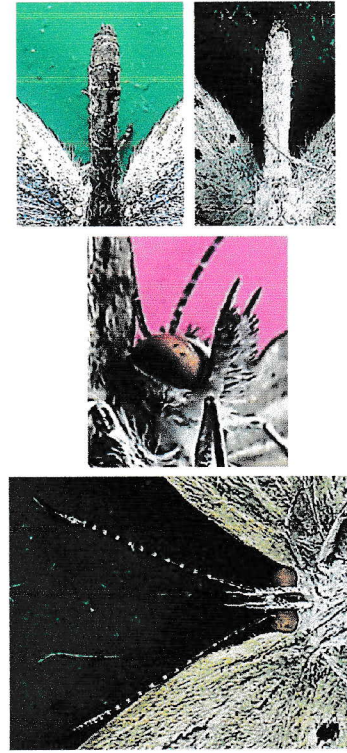


ヤマトシジミ (昆虫綱・チョウ目・シジミチョウ科) 2018年版

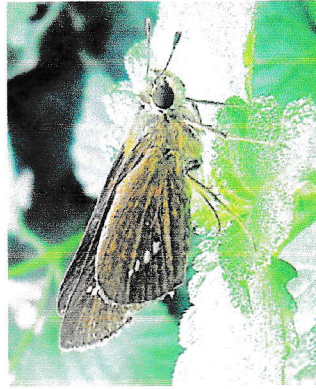


原種: Windows8・ピクチャ・2018-07-16、-17、
採取: 2018/7/13、船橋・浜町1、浜町公園。
体長: 10[♂]、翅長: 12[♂]。
撮影: 2018/7/16、/17。
参照: 『ガラケー一蟲記』① p.66-68、⑥ p.41。
山崎生 『昆虫博士入門』p.202。

懇ろずに展翅ご挑戦。市川学園図書館前寺
代にはもっと手際よく見映えよくやって
いたと思うんだが。
バックの色や採光で、写る色合いや露光
時間が変わることがわかっていたので
(参照: ① 巻末の「撮影リスト」) 何種
りか試してみた。中でマシなものか
れ。この程度がせいじっばいではございま
す。



イチモンジセセリ (昆虫綱・チョウ目・セセリチョウ科) 2018年版

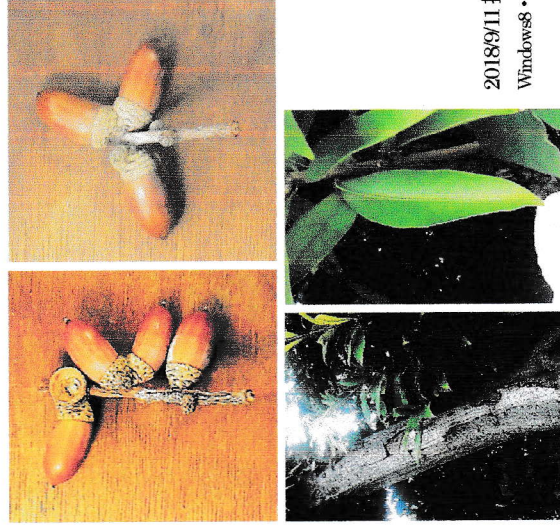


原種: Windows8・ピクチャ・2018-08-30。
撮影: 2018/8/20、船橋・浜町1、浜町公園。
参照: 『ガラケー一蟲記』① p.45、⑥ p.43。
山崎生 『昆虫博士入門』p.17、51、204。

かなりの数のイチモンジセセリが見れた。
葉や花に止っているところを写すのが、比較
的容易な被写体。ただし、使っているガラケー
一の画面が、明るい場所ではほとんど使い物
にならないのが残念。

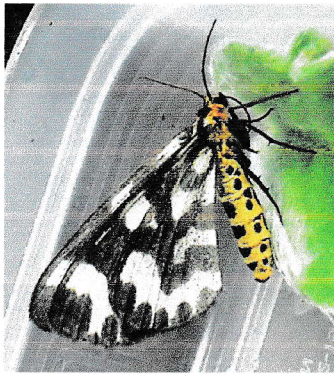
どんぐりころろ

イチモンジセセリが見られるようになった頃、浜町公園にどんぐりがましままで落ちてい
た。マテバシイ(馬ノ栗種)らしい、何本かのそれぞれ実を落としている。見あげると葉の
間にも見える。今年は豊作だ。片岡氏の『どんぐりくらみ』の編纂はまだかな。

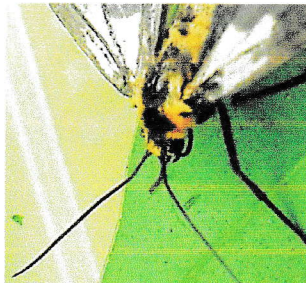


2018/9/11 撮影・採取 浜町公園
Windows8・ピクチャ・2018-09-10

ウメエダシヤク (昆虫綱・チョウ目・シヤクガ科) でよさそうだ

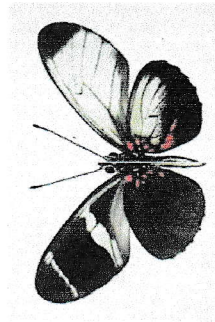


原画: Windows8・ピクチャ・2018-06-16、-17。
採取: 2018/6/16。船橋・浜町1。『知広虫園』
体長: 16^{3/8}mm。翅長: 21^{3/8}mm。
撮影: 2018/6/16、/17。
山崎生 『昆虫博士入門』p177。



羽の模様

チョウ・カの羽の模様に着きつけられて採集を始める人もいる。その模様について、選伝子レベルでの研究のことが新聞に出た。

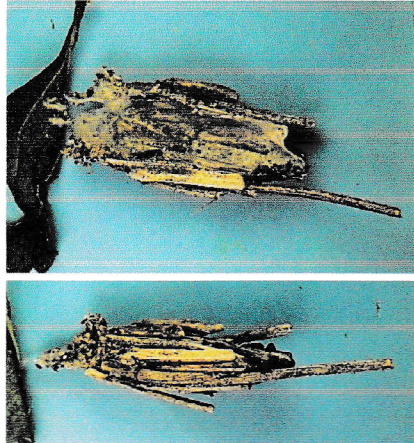


正常なチョウの羽(左側)と、ゲノム編集した別のチョウの羽(右側)。白い部分が大きくなっている(研究チームの)チャード・ウォルバング博士提供

・チョウの羽 描く選伝子「ゲノム編集」で模様変化
*米チーム成功 「ゲノム編集」の技術を使い、チョウの羽の模様を変えることに成功したと、米ジョージ・ワシントン大などの研究チームが18日、発表した。選伝子が多彩な羽の模様を作り出す仕組みの解明につながると思われる。
2018.9.19 読売新聞・夕 夕から(写真も)

参照: 『七辞典・チョウ』

ミノガ (蒙蛾。鬼の捨子。鬼の子) の糞 2018年版
(昆虫綱・チョウ目・ミノガ科)



原画: Windows8・ピクチャ・2018-05-17。
採取: 2018/5/17。船橋・浜町1-35。船橋場
葉全長: 45^{3/8}mm。葉幅: 10^{3/8}mm。
撮影: 2018/5/17。
参照: 『カラケ一蟲記』⑥ (9の巻) p48。
山崎生 『昆虫博士入門』p72、192。

開いてみたら(右写真)主はいませんでした。飛び去ったということはオスがたったわね。出口にある線状のものは卵の気が強い。

ガ ?

原種 : Windows8・ピクチャ・2018・10・30。
採取 : 2018/10/25、船橋・浜町1。マンション3F 室内
体長 : 6^{mm}、翅長 : 5^{mm}。
撮影 : 2018/10/25。

ガ、それもこの大きさ、いや小さくはお手上げ。写すのも限界。

